

令和2年度事業報告

1. 概要

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的規模の拡大という未曾有の危機に見舞われ、感染拡大を防止する観点から、事業について延期・中止などの対応をせざるを得ない状況になっており、事業の実施予定が大きく変わっていると共に、令和3年度の事業等実施予定も見通しづらい状況化にあります。

しかしながら、シルバー事業につきましては、会員に働く機会を提供することを通じて、会員の生きがいの充実や生活の安定、又地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進するなど、シルバー人材センターの果たす役割は重要なものがあります。

このような中、中間市シルバー人材センター（以下「センター」という）は第4次中長期事業運営計画（令和元年度～令和5年度）に沿って、センター事業の在り方や取り組みの推進を図って参りましたが、施設管理業務の一部が就業停止・一般受託収入の落ち込みなどその影響を受けたところです。

会議につきましては、昨年度開催出来なかった職群班会議のみの開催で、各班長会議・地域班会議は中止と致しました。

普及啓発活動事業につきましては、「いきいきシルバーなかま」の発刊や会員による口コミ等でセンターのPRに努めましたが、会員の増加に結びつかず逆に減少傾向にあり、その歯止めの対策が必要不可欠であります。

地域貢献への取組としては、「ワンコイン事業」や「介護予防としての総合事業」を実施し、地域貢献に努めてまいりました。

適正就業につきましては、適正就業ガイドラインに沿って高齢者の技術と能力に応じた「臨時的かつ短期的な就業・その他の軽易業務」の就業形態を遵守することを入会説明会時に説明を行いました。

安全就業につきましては、「事故ゼロ」目指して、取り組んできましたが6件と増加傾向にありましたので、今年度職員・会員が一体となって安全就業に取り組んでいく必要があります。

令和2年度の事業報告につきましては、以下のとおり報告いたします。

(1) 普及啓発

高齢者の入会促進や就業機会の確保を図るため、センターの事業内容、会員募集、仕事の依頼等会員の声を「いきいきシルバーなかま」第10号に掲載し、市内全世帯に配布し、又中間市役所等に啓発用資料を掲示するなど普及啓発活動に努めました。

(2) 社会参加活動

センターが行っている独自事業「刃物研ぎ」、「石焼芋販売」、「エアコン清掃」の活動内容をチラシ等で広くPRに努め、又地域貢献では高齢者の生活支援の「ワンコイン事業」や「介護予防としての総合事業」等の活動に努めました。

樹木剪定のボランティア活動は、樹木医の専門家を招へいし、会員の技能向上を図る講習会を兼ね中間北中学校で実施し、なお、10月に予定しておりました清掃ボランティアは新型コロナウイルス感染症予防のため中止を致しました。

(3) 安全就業対策・適正就業の徹底

安全就業につきましては「事故ゼロ」の取り組みとして、就業現場への安全パトロールを強化しましたが、事故発生件数は6件で、昨年度より3件増加という残念な結果となりましたので、安全委員会を中心としたパトロールの回数を増加し強化に努めて参りました。尚、事故の詳細については3月開催の職群会議において報告致しました。

適正就業につきましては、シルバー人材センター適正就業ガイドライン「シルバー人材センターのご案内」で「請負・委任・派遣・職業紹介」の形態や会員が概ね「月10日以内・週20時間」を超えない範囲でのローテーション就業の徹底を図って参りました。

(4) 相談事業

入会説明会を毎月第3木曜日の月1回定期的に当センター会議室にて開催し、更に入会を希望する高齢者を対象に随時相談を実施し、また会員の就業に関しては、様々な相談を受けるなど、その都度対応し会員とのコミュニケーションを図って参りました。

(5) 研修・講習事業

11月に会員を対象とした剪定技能講習会を実施し、技能向上に努めて参りましたが、その他の講習会は新型コロナウイルス感染症予防のためすべて中止と致しました。